



令和5年度 学校便り **藍志(あいし) 第6号**

令和5年(2023年)10月26日

発行者: 藍住中学校 西山伸二

ルールメイキング・サミット2023に参加しました！

9/24(日)に東京都新宿区にある桜美林大学で開催された「ルールメイキング・サミット 2023」(経済産業省後援)に本校生徒会長と共に参加しました。全国からエントリーで選考された中高生約100名が集まり、社会で活躍するルールメイカーと出会い、対話し、学びを深め、発信する機会となりました。分科会において本校生徒会長からは、「この学校を私たち生徒の手で、よりより場にする事ができる、そんなことが可能ならば、どんなことにも挑戦したいと思った。」と発表がありました。心に残った言葉としては、「主体性には自己責任とリスクを伴う」「100年残っている企業では理念だけが残り続けている」「社会を変えるにはメディアと第三者を使うのが有効」「社会をつくっていく子どもをつくっていく」「I have a dream"から"We have a dream"へ」など広い世界をみせていただきました。



中高生による海外研修座談会~オーストラリアでの学び~

9/25(月)の放課後に徳島北高校において開催された「中高生による海外研修座談会」に、本年度藍住町海外研修派遣事業に参加した6名の生徒が参加しました。北高生からは環境問題をテーマとした発表があり、「さすが高校生!」と思わせるものでした。6グループに分かれての意見交換会では、北高生のリードのもと、和気あいあいと話しがはずんでいました。こうして中高生が共に語り合う機会はとても貴重で、学びの多い時間となりました。



能ワークショップ

9/26(火)の5・6校時に本校体育館において全校生徒を対象とした、「能楽ワークショップ」が開催されました。大阪の「山本能楽堂」から講師の先生方をお招きして、能の歴史や演舞、すり足の体験などがありました。演舞では声が体育館中に響き渡り、その瞬間に全校生徒の動きが止まり、本物の声は心に響くものだと感じました。また、すり足の体験では、3年生の生徒に引っ張られてステージで私も体験しました。「たかがすり足」と思っていたのですが、実際にやってみると体に力が入りすぎてとても難しかったです。「剣道のような」と思いました。



北部Aブロック新人大会

10/7(土)から10/15(日)の2週にかけて北部Aブロック新人大会が行われました。今大会を終えて一番印象に残ったのは、多くの競技で積極的にプレイする姿が見られたことでした。新人大会であるので、まだまだ完成していないところはありますが、ボールを必死に獲りにいこうとする姿や、ディフェンスに素早く戻る姿、迷う場面でも思いきって打つ気持ちが見られ、未完成の中にも大きな可能性を感じました。

勝負所で思ったことは、敵は相手ではなく、自分自身がいかに当たり前のプレイを当たり前にできるかどうか、平常心でいられるかだと感じました。「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」といわれるのは、自分自身の心が乱れ、平常心でなくなった時に、流れが相手側になってしまうということでしょうか。そう考えると、いかに自分の心をすべきことをする“平常心”に保っておくことが際どい勝負の分かれ道になるのだと思います。つまりは、毎日の生活の中で、“心を整えておく”ことにキーがあるのだと感じました。熱戦を繰り広げてくださった選手・応援・顧問のみなさん、ありがとうございました。

